

これまでに乳癌のホルモン療法及び子宮体癌の治療を受けた 患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院乳腺科では「乳癌内分泌療法中の子宮内膜癌予測マーカーの開発」という研究を行っております。この研究は、ホルモン陽性乳癌の術後ホルモン療法中に発生する子宮体癌の特徴とその予測・予防方法を明らかにすることを主な目的としています。そのため、過去に乳癌術後ホルモン療法中に子宮体癌の手術を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

この研究の対象となる患者さんは、ホルモン陽性乳癌の術後にホルモン療法を行った方の中、西暦2007年1月1日から西暦2016年12月31日の間に産婦人科で子宮体癌の手術を受けた方です。利用させていただくカルテ情報は下記です。

診断名、年齢、検査結果（血液検査、病理組織学検査）、術後経過の詳細（再発の有無、再発治療の詳細）

この研究は順天堂大学医学部研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

- ・研究実施期間 西暦2017年5月25日 ~ 西暦2026年3月31日まで
- ・研究責任者 清水秀穂
- ・研究分担者 堀本義哉、齋藤剛、寺尾泰久、佐伯春美

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

この研究は、乳腺科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画し実施するものです。従いまして、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第12の1(2)イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属順天堂医院 乳腺科

電話：03-3813-3111（順天堂医院大代表）

研究担当者：清水秀穂